

各位

三井住友信託銀行株式会社

## 「株主総会ポータル®」サービスの提供開始について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、2022年9月の改正会社法で創設された株主総会資料の電子提供制度(以下「電子提供制度」)に対応し、わが国の株主総会プロセスのDX化を推進する新サービスとして、「株主総会ポータル®(※1)」(以下「当サービス」)を、2023年5月に開催される株主総会から提供を開始することとしました。

当サービスは、株主様にお届けする株主総会関連の情報の量・質を維持しつつ、株主総会に関する株主様のDX向上のコンセプトのもと、株主総会の日時・場所や議案の詳細といった招集通知の閲覧機能に加え、企業情報の閲覧、議決権行使、バーチャル株主総会サイトへのアクセスなど、株主総会に関連する各種サービスをシームレスに提供します。

### 招集通知の確認も議決権行使も簡単に！

「株主総会ポータル」でらくらく操作

#### 1 QRコード®の読み取り

- ✓ 同封の議決権行使書用紙の右下「株主総会ポータルサイトログイン用QRコード®」を読み取ります

#### 2 招集通知を閲覧

- ✓ スマートフォンで議案情報、企業情報等を読みやすくご確認いただけます
- ✓ 画面上部の「議決権行使へ」ボタンを押下すると議決権行使画面が開きます

#### 3 議決権行使(スマート行使®)

- ✓ 画面の案内に従って議案の賛否をご入力ください
- ✓ 「行使受付完了」画面が出れば、議決権行使は終了です

株主様は、従来、株主総会招集通知の内容を書面で確認していたところ、当サービスでは、郵送で受け取った議決権行使書面に記載されているQRコード®(※2)をスマートフォン等で読み込むだけで必要な情報にアクセスすることが可能となります。さらに、情報にアクセスするだけでなく、スマートフォン等でQRコード®を1回読み込むだけで、議決権行使まで可能となるサービスです。

当社は、2018年にいち早くスマートフォンによる議決権行使サービスを導入するなど、株主総会プロセスのDX化を積極的に推進してきました。今後も、株主名簿管理人として株主様の株主総会に関する体験価値向上に努めていきます。

(※1)「株主総会ポータル」は三井住友信託銀行株式会社の登録商標です。

(※2)「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

(※3) 三井住友信託銀行株式会社、東京証券代行株式会社、日本証券代行株式会社を合算した上場ご委託会社数は1,694社であり、わが国最大の株主名簿管理人グループとなっています(2022年9月末現在)。

以上

(ご参考)スマートフォン操作イメージ

## 「株主総会ポータル」の3つのポイント

 <b>簡単・便利</b> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ お手元のスマートフォン等でQRコード®を読み取るだけ！</li><li>✓ ID・パスワードの入力不要で簡単にアクセス！</li></ul>	 <b>招集通知が読みやすい</b> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 最適化された画面構成で議案情報が読みやすい！</li><li>✓ 企業情報や業績情報、株主総会資料(PDFファイル)の閲覧も可能！</li></ul>	 <b>議決権行使もらくらく</b> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ ボタン一つで議決権行使画面へ移動できる！</li><li>✓ 議決権行使も画面の案内に従って簡単に入力可能！</li></ul>
---	---	--

